

2-6 移輸出および移輸入

2-6-1 自給率

平成 27 年の自給率は 57.9%であった。静岡県と比べると 0.6 ポイント低く、国と比べると 33.0 ポイント低い。

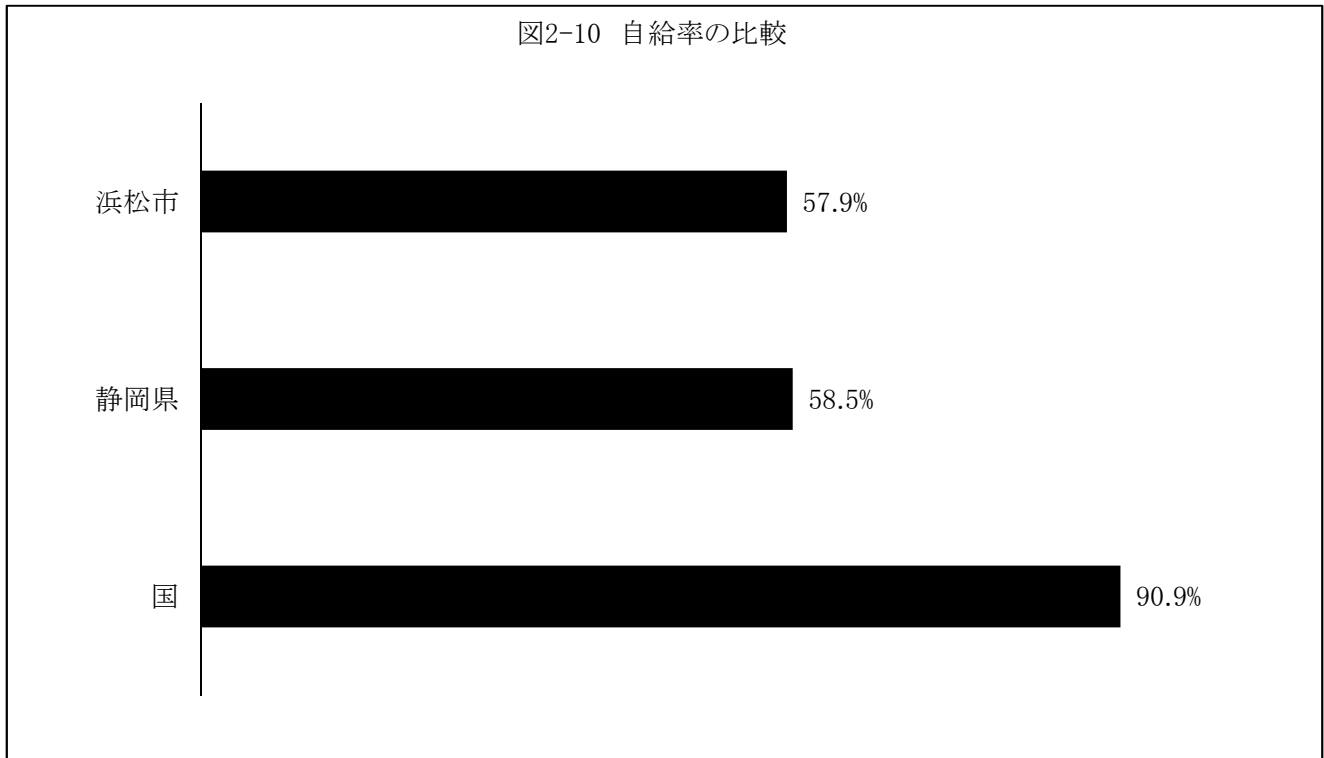


表 2-12 移輸入率および自給率

	浜松市	静岡県	国
市内需要(百万円)	5,616,441	31,887,086	1,119,986,515
移輸入 (百万円)	2,363,914	13,239,068	102,168,127
移輸入率	42.1%	41.5%	9.1%
自給率	57.9%	58.5%	90.9%

◇自給率

市内需要のうち、市外から購入する割合を移輸入率、市内産を購入する割合を自給率という。

例えば、移輸入率が 30%であれば自給率は 70% (100%-30%) となる。経済波及効果の観点からすると、自給率が高いほど市内の生産活動が増えるため経済波及効果は高く、自給率が低くなるほど経済波及効果は低い、という関連性がある。

$$\text{移輸入率} = \text{移輸入} \div \text{市内需要}$$

$$\text{市内自給率} = 100\% - \text{移輸入率}$$

2-6-2 移輸出

平成 27 年の移輸出は 2,317,640 百万円であった。産業部門別の構成比をみると、輸送機械が 28.7%と最も高い。移輸出合計の 1/4 以上を占めており、地域外から所得を多く稼ぐ産業部門である。

表 2-13 産業部門別の移輸出

	移輸出 百万円	移輸出 構成比
01 農林漁業	21,178	0.9%
06 鉱業	653	0.0%
11 飲食料品	69,486	3.0%
15 繊維製品	26,414	1.1%
16 パルプ・紙・木製品	34,382	1.5%
20 化学製品	7,241	0.3%
21 石油・石炭製品	494	0.0%
22 プラスチック・ゴム製品	98,052	4.2%
25 窯業・土石製品	11,394	0.5%
26 鉄鋼	9,850	0.4%
27 非鉄金属	14,554	0.6%
28 金属製品	58,034	2.5%
29 はん用機械	30,870	1.3%
30 生産用機械	135,677	5.9%
31 業務用機械	19,031	0.8%
32 電子部品	57,150	2.5%
33 電気機械	71,546	3.1%
34 情報通信機器	31,271	1.3%
35 輸送機械	664,804	28.7%
39 その他の製造工業製品	48,568	2.1%
41 建設	0	0.0%
46 電力・ガス・熱供給	0	0.0%
47 水道	0	0.0%
48 廃棄物処理	0	0.0%
51 商業	196,499	8.5%
53 金融・保険	41,888	1.8%
55 不動産	0	0.0%
57 運輸・郵便	182,953	7.9%
59 情報通信	21,727	0.9%
61 公務	0	0.0%
63 教育・研究	161	0.0%
64 医療・福祉	177,784	7.7%
65 他に分類されない会員制団体	5,362	0.2%
66 対事業所サービス	112,456	4.9%
67 対個人サービス	146,278	6.3%
移輸出合計	2,317,640	100.0%

◇移輸出

市内で生産された財・サービスのうち、国外への販売を輸出、市内を除く国内への販売を移出、輸出と移出の合算を移輸出という。

2-6-3 移輸入

平成 27 年の移輸入は 2,363,914 百万円であった。産業部門別の構成比をみると、輸送機械が 11.1%と最も高く、次いで飲食料品が 9.8%と続く。輸送機械は移輸入額、移輸出額のいずれも最も大きい産業部門である。

表 2-14 産業部門別の移輸入

	移輸入 百万円	移輸入 構成比
01 農林漁業	24,059	1.0%
06 鉱業	17,137	0.7%
11 飲食料品	230,918	9.8%
15 繊維製品	42,395	1.8%
16 パルプ・紙・木製品	57,485	2.4%
20 化学製品	149,372	6.3%
21 石油・石炭製品	77,650	3.3%
22 プラスチック・ゴム製品	78,609	3.3%
25 窯業・土石製品	24,566	1.0%
26 鉄鋼	82,615	3.5%
27 非鉄金属	62,111	2.6%
28 金属製品	50,433	2.1%
29 はん用機械	36,411	1.5%
30 生産用機械	25,298	1.1%
31 業務用機械	23,040	1.0%
32 電子部品	57,923	2.5%
33 電気機械	71,456	3.0%
34 情報通信機器	39,181	1.7%
35 輸送機械	261,758	11.1%
39 その他の製造工業製品	44,278	1.9%
41 建設	0	0.0%
46 電力・ガス・熱供給	86,505	3.7%
47 水道	0	0.0%
48 廃棄物処理	0	0.0%
51 商業	172,588	7.3%
53 金融・保険	20,806	0.9%
55 不動産	1,935	0.1%
57 運輸・郵便	121,960	5.2%
59 情報通信	140,377	5.9%
61 公務	0	0.0%
63 教育・研究	69,169	2.9%
64 医療・福祉	14,549	0.6%
65 他に分類されない会員制団体	8,483	0.4%
66 対事業所サービス	190,440	8.1%
67 対個人サービス	69,366	2.9%
移輸入合計	2,363,914	100.0%

◇移輸入

市外から購入する財・サービスのうち、国外からの購入を輸入、市内を除く国内からの購入を移入、輸入と移入の合算を移輸入という。

2-6-4 市際取引からみた産業類型

市外との取引関係を表す移輸出・移輸入を基準とした市際取引においては、移輸出率・移輸入率の大小により次の4つの類型に分類することができる。

4つの類型は以下の通りである。(事務用品、分類不明を除く。)

類型① 市際流通型 (移輸出率 \geq 50%、移輸入率 \geq 50%)

この類型は、市内よりも市外での取引を主体とした産業部門であり、輸送機械など16の産業部門が該当する。部品を市外から購入し、付加価値をつけて市外に販売する産業部門が多い。

類型② 移輸出特化型 (移輸出率 \geq 50%、移輸入率 $<$ 50%)

この類型は、購入の大半を市内でまかないつつも、販路については大半を市外で販売する産業部門であり、運輸・郵便の1部門が該当する。

類型①と類型②は、販売の大半が市外であり、市外から所得を獲得できる産業部門である。

類型③ 市内自給型 (移輸出率 $<$ 50%、移輸入率 $<$ 50%)

この類型は、市外からの購入と販売がいずれも少なく、購入と販売の大半を市内でまかなう地産地消の性格が強い産業部門である。医療・福祉など13の産業部門が該当する。

類型④ 移輸入依存型 (移輸出率 $<$ 50%、移輸入率 \geq 50%)

この類型は、市内生産によって市内の需要をまかなうことが難しく、購入の大半を市外に依存しつつも、販売の大半は市内にとどまる産業部門であり、情報通信など5つの産業部門が該当する。一般的に、天然資源を扱う産業部門や産業集積が低い産業部門が多い。

類型③と類型④は、販売の大半を市内でまかなう産業部門である。

図 2-11 浜松市における生産額上位15産業部門の市際取引からみた産業類型

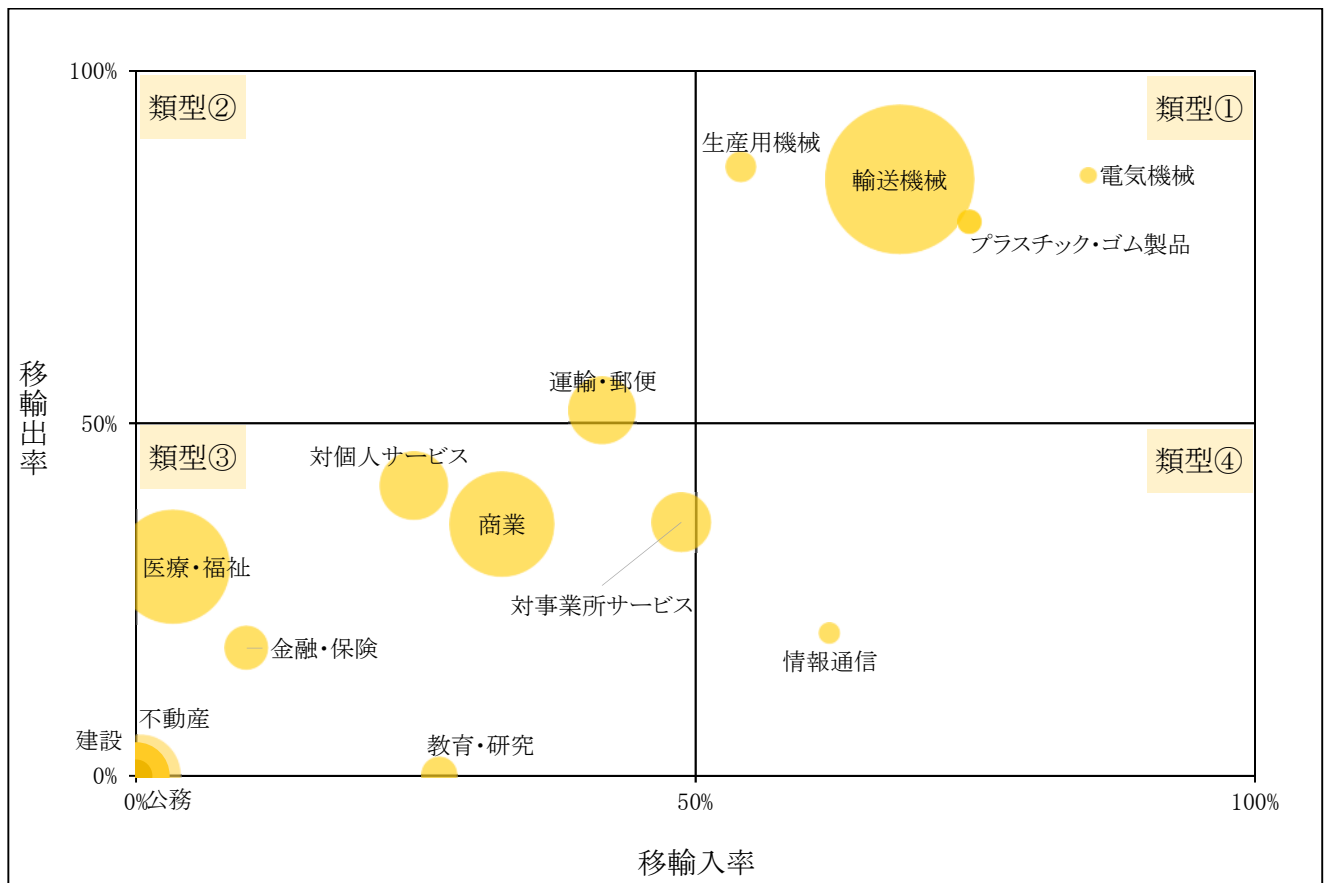


表 2-15 産業部門別の市際取引の類型（類型順、生産額の多い順）

	市内生産額 百万円	移輸入率	移輸出率	類型	
35	輸送機械	786,535	68.3%	84.5%	1
30	生産用機械	157,131	54.1%	86.3%	1
22	プラスチック・ゴム製品	124,921	74.5%	78.5%	1
33	電気機械	84,013	85.1%	85.2%	1
11	飲食料品	83,871	94.1%	82.8%	1
28	金属製品	77,026	72.6%	75.3%	1
32	電子部品	70,995	80.7%	80.5%	1
39	その他の製造工業製品	69,592	67.8%	69.8%	1
16	パルプ・紙・木製品	40,514	90.4%	84.9%	1
15	繊維製品	33,635	85.4%	78.5%	1
29	はん用機械	31,677	97.8%	97.5%	1
34	情報通信機器	31,392	99.7%	99.6%	1
31	業務用機械	19,197	99.3%	99.1%	1
25	窯業・土石製品	17,314	80.6%	65.8%	1
27	非鉄金属	17,186	95.9%	84.7%	1
20	化学製品	7,863	99.6%	92.1%	1
57	運輸・郵便	353,640	41.7%	51.7%	2
64	医療・福祉	600,991	3.3%	29.6%	3
51	商業	551,416	32.7%	35.6%	3
55	不動産	423,058	0.5%	0.0%	3
67	対個人サービス	356,011	24.9%	41.1%	3
41	建設	355,122	0.0%	0.0%	3
66	対事業所サービス	312,879	48.7%	35.9%	3
53	金融・保険	231,475	9.9%	18.1%	3
63	教育・研究	185,631	27.2%	0.1%	3
61	公務	172,514	0.0%	0.0%	3
01	農林漁業	58,595	39.1%	36.1%	3
47	水道	37,569	0.0%	0.0%	3
48	廃棄物処理	24,368	0.0%	0.0%	3
65	他に分類されない会員制団体	22,296	33.4%	24.1%	3
59	情報通信	107,747	62.0%	20.2%	4
46	電力・ガス・熱供給	48,629	64.0%	0.0%	4
26	鉄鋼	28,407	81.7%	34.7%	4
21	石油・石炭製品	3,021	96.8%	16.4%	4
06	鉱業	1,866	93.4%	35.0%	4

2-6-5 産業部門別の市際収支

平成 27 年の市際収支は-46,274 百万円であった。浜松市では財・サービスを市外に販売するよりも、市外から購入している方が多く、市際赤字となっている。

産業部門別にみると、市際黒字は輸送機械が 403,046 百万円と最も多く、次いで生産用機械の 110,379 百万円であった。市際赤字は飲食料品が 161,431 百万円と最も多く、次いで化学製品であった。市際赤字の産業部門は市内での産業集積度が弱いともいえる。

表 2-16 産業部門別の市際収支

		市際収支 百万円
01	農林漁業	-2,881
06	鉱業	-16,484
11	飲食料品	-161,431
15	繊維製品	-15,981
16	パルプ・紙・木製品	-23,103
20	化学製品	-142,132
21	石油・石炭製品	-77,156
22	プラスチック・ゴム製品	19,443
25	窯業・土石製品	-13,172
26	鉄鋼	-72,764
27	非鉄金属	-47,557
28	金属製品	7,601
29	はん用機械	-5,541
30	生産用機械	110,379
31	業務用機械	-4,008
32	電子部品	-773
33	電気機械	90
34	情報通信機器	-7,910
35	輸送機械	403,046
39	その他の製造工業製品	4,290
41	建設	0
46	電力・ガス・熱供給	-86,505
47	水道	0
48	廃棄物処理	-0
51	商業	23,912
53	金融・保険	21,082
55	不動産	-1,935
57	運輸・郵便	60,993
59	情報通信	-118,651
61	公務	0
63	教育・研究	-69,008
64	医療・福祉	163,236
65	他に分類されない会員制団体	-3,121
66	対事業所サービス	-77,983
67	対個人サービス	76,912
市際収支合計		-46,274

◇市際収支

移輸出額から移輸入額を減じた額をいう。

市際収支 = 移輸出額 - 移輸入額